



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2020-2021 年度
8月号
NO. 371

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL 03-3615-5565

強調月間

CS/Yサ
パートナーシップ

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ソカポール) 主題:「変化をもたらそう」
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」
～明るく楽しい未来を創ろう～

8月例会(ZOOM 例会)

と き 2020年8月9日(日)
19:00~20:00

※ コロナウイルス感染拡大のため、予定していた東陽町センターでの納涼例会は中止とし、Zoom 例会に変更しました。
(関東東部 Zoom アカウント使用)
Zoom による懇談を楽しみましょう！

強調月間「CS・YMCAサービス/パートナーシップ」

地域奉仕・Yサ事業主任：小原史奈子

今年度の強調月間は昨年と変更があり、8月は「CS：地域社会への奉仕活動」の他に「YMCA サービス」「パートナーシップ」が取り上げられます。例年ですと、8月にはYMCAのキャンプや各種催し、地域をまきこんでの活動が目白押しになっているはずでした。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止を意識した生活が求められています。そんなコロナ禍でも豪雨被害など自然災害が次々おきています。一番はご自身の身を守って頂きながら、ワイス、YMCA活動をそれぞれの地域に合わせて考え、実行し、情報のシェアをお願いいたします。各クラブからのプリテンでニーズに合った活動を参考に「今出来る事」をはじめてみましょう。巣ごもりで、孤立、孤独にならないように、声かけもお願いいたします。また、「YMCA サービス」で今すぐ出来る事は「ポジティブネット募金」への協力です。コロナの影響を受ける青少年支援募金で、YMCAに関わる子ども、ユース、地域で暮らす人々の支援の為に、集められた募金は使われます。体を動かして直接奉仕がしにくい今、募金を集める事で間接的なサポートをお願いいたします。可能であれば、地域のみなさんにもお声がけ頂き、「ワイスが地域とYMCAをつなぐ架け橋」になってください。

(理事通信 8月号より)

★今月の誕生日

竹内 聡メン (29日)
今井 爽子ネット (10日)
須田由美子ネット (22日)



✞ 今月の聖句 ✞

『わたしの愛する兄弟達、よくわきまえていなさい。だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。』

—ヤコブの手紙 第1章 19節—

7月例会

出席者 12名 ゲスト 名
会員出席数 12名
在籍数 15名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 86 %

スマイル

7月 19,000円
累計 19,000円

2020-2021 年度役員

会長 須田哲史
副会長 高野真治
書記 金丸満雄
会計 千代一郎
担当主事 沖 利柯

7月例会(総会)

7月9日、7月例会(総会)は東陽町センターYMCAホールに於いて、3蜜を守り開かれた。18:30 金丸書記の司会で開会、会長挨拶・食前の感謝の後食事と進み、7月誕生日を祝ったあと総会議事に移った。報告事項では、飯田直前会長より2019-2020年度の活動記録をもとに報告がされた。続いて千代会計の決算報告が行われ拍手にて承認されこれを以て飯田期は終了した。続いて2020-2021年度の活動方針が須田会長より発表された。SDGs(持続可能な開発目標)を軸にして、17の目標、169の「ターゲット」の中から、私たちが活動に取り込むことが出来る内容を抽出し、例会・事業活動を展開する。①例会でのSDGs勉強会活動②クラブ内環境整備活動③社会環境整備活動④ワイズ基本活動の再発見活動⑤アフターコロナ(新しい日常ワイズ活動の創造)等々、目標と活動計画が力強く述べられた。予算案・年間行事・今期クラブ体制が承認され総会議事は終了。各種報告と一言スマイルを行い例会が終了した。



ソーシャルディスタンスを堅守!

2020-2021年度第1回関東東部評議会

7月18日(土)、第1回評議会は千葉ウエストクラブ設立総会のあと、同じ会場で14:30より開催された。

布上書記の司会で開会。最初に、部長バッチ引継式が行われ、金丸直前部長より柿沼部長へバッチが引き継がれた。続いて柿沼部長挨拶と方針が述べられ、「学びと親睦を糧に外へ向かおう!」を主題とし、ワイズ活動が内向きに留まりがち傾向がみられる。会員自ら外に出てEMC活動の遂行を図る。そして①自クラブの強み弱みを認識しクラブのあるべき姿の再構築を行う②EMC活動に、部・クラブが一体となって推進を図る③後継者(若手)の育成対策④YMCAとのパートナーシップの更なる深耕等々の活動計画が発表された。そしてキャンペーン行事として、「ゴーゴーキャンペーン」の実施と「ウエルカムキャンペーン」の実施が提案された。続いて、各事業主査と各クラブ会長の活動方針が発表された。各クラブ活動方針では、それぞれクラブ活動の意気込みが発表された。休憩後、柿沼部長を議長に選出し、各提出議案の審議が行われた。第1号議案：2019-2020年度会計決算、監査報告、第2号議案：新入会員への部大会登録費補助制度(ウエルカムキャンペーン)、第3号議案：クラブ交流促進奨励制度(ゴーゴーキャンペーン)、第4号議案：2020-2021年度予算案、以上の議案が審議され承認された。最後に、書記並びに会計よりの連絡事項で第1回評議会は終了した。

(仮)千葉ウエストクラブ設立総会

7月18日(土)、関東東部11番目のクラブ誕生に向け、千葉ウエストクラブの設立総会が船橋商工会議所会館にて行われた。コロナ禍の中での開催のため、出席者を絞り3蜜を避けた感染防止対策がとられた総会となった。(出席者42名)

13時より、青木一芳準備委員会書記(千葉クラブ)の司会で開会。千葉クラブ石丸会長の開会点鐘と挨拶、長尾設立準備委員長による設立経過報告に続き、高田副委員長を議長に選出し、役員発表・会則・活動方針・予算案等、総会議事が審議され全て承認された。続いて、板村哲也東日本区理事・伊藤幾夫会員増強事業主任・栗本治郎change2022委員長・柿沼敬喜関東東部部長各位の祝辞をいただき、8名の会員紹介と高田会長のあいさつで設立総会は終了した。

関東東部の新クラブ設立構想は、3年越しで取組んできたエクステンションは、今期に新クラブが誕生します。設立準備委員会そして、スポンサーの千葉クラブの皆様へ感謝いたします。



千葉ウエストクラブ8人のメンバー

YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼インターナショナルチャリティーラン

今年は新型コロナウイルス禍のため、例年のスタイルでの開催は難しいのですが、10月24日~11月1日まで9日間、スマホアプリを使用して6名~20名のチーム平均歩数で競うウォーキング大会を開催致します。1チーム10万円の参加費に変わりはありません。この機会にいつもは模擬店で腕を振るって下さっているひがしクラブメンバーにも、ご参加を検討いただければ幸いです。(詳細は会員部より)

▼フードパントリー始動

こちらコロナ禍の活動として、江東区内の他のこども食堂と一緒に、ひとり親家庭への食材支援パントリーを立ち上げたいと思っています。皆様には食材の提供などお願いしたいと思っておりますので、詳細決定しましたらまたご連絡いたします。どうぞお覚えいただき、応援してください。

▼“ふくのわ”プロジェクトに協力

衣類をリユース業者に引き取ってもらい、益金をパラ競技団体パラアスリートに寄付し、パラスポーツを応援する運動に東京YMCAとして協力を致します。東陽町センターロビーにふくのわボックスを設置しましたので、不要になった衣類のご寄付をお願い致します。